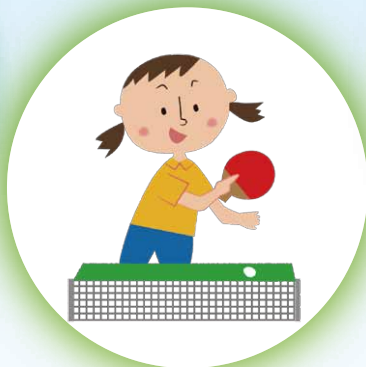


熊本市生涯学習指針 概要版

わくわく学習都市くまもとの実現を目指して



熊本市教育委員会



生涯学習とは

生涯学習とは、学校教育、社会教育、家庭教育等の学習機会のもとより、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化芸術活動、ボランティア活動、趣味等の様々な学習活動をいいます。

生涯学習

学校教育

■ 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学等における教育

社会教育

■ 保育園等による学習
■ 公民館等が行う学習
■ 生涯学習関係機関・団体・事業者・企業等が行う学習

家庭教育

■ 基本的生活習慣の習得
■ 家庭内におけるしつけなど

自己学習

基本理念



細川重賢



横井小楠

熊本市は、「国を興すは、学を興すにあり」とした肥後細川藩の城下町であり、細川重賢公による「宝暦の改革」では「人づくり」が重視され、藩校「時習館」、医学校「再春館」等が創設されるなど、文教の府として栄えてきた歴史があります。

また、横井小楠の私塾である「四時軒」は、明治の近代化に大きな貢献をした人材を輩出しました。庶民教育でも、熊本は全国第5位の寺子屋数を誇り、後に「教育県」と呼ばれる礎を築きました。明治20年には、第五高等中学校（現在の熊本大学）が創設され、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）、夏目漱石が教師として赴任、今日でも「熊本スピリッツ運動」「森の都」「俳句文化」としてその足跡は息づいております。

今後、熊本市は、これまでの歴史と文化を踏まえ、熊本市教育振興基本計画に掲げる「徳・知・体の調和のとれた教育都市くまもと」を根本に、同計画の要素「学びを求める人づくり」「学びを深める人づくり」「学びを活かす人づくり」「学びでつなぐ人づくり」を機能させながら、全ての市民が、自己の充実・実現のために、主体的に生涯を通じて学習活動を行うとともに、この成果を自らの生活向上のみならず、豊かな地域づくり等の社会貢献につなげる、生涯学習都市くまもとの実現を目指します。

指針の位置づけ

本指針は、熊本市基本構想（平成 20 年 6 月策定）で掲げる分野別基本方針「豊かな人間性と未来を切り開く力をはぐくむ教育の振興」に基づき、本市の生涯学習の推進における基本的な考え方や方向性を示したものであり、市民、民間団体、行政の協働による生涯学習社会の実現に向けた基本指針となるものです。本指針の策定にあたっては、中央教育審議会答申（H20.2）“新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～”等を参考とするとともに、生涯学習を取り巻く本市の現状や課題を踏まえました。

指針の期間は、熊本市第 6 次総合計画及び熊本市教育振興基本計画との整合性を踏まえ、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間とし、中間年にあたる平成 25 年度に見直しを行いました。

成果指標と目標値

施策を展開するにあたって、成果指標と達成目標を次のとおり設定しました。

成果指標	基準値 (H20)	中間目標値 (H25)	目標値 (H30)
過去1年間に生涯学習を行った市民の割合	42.4%	45%	50%

指針が目指す「わくわく学習都市くまもと」とは？

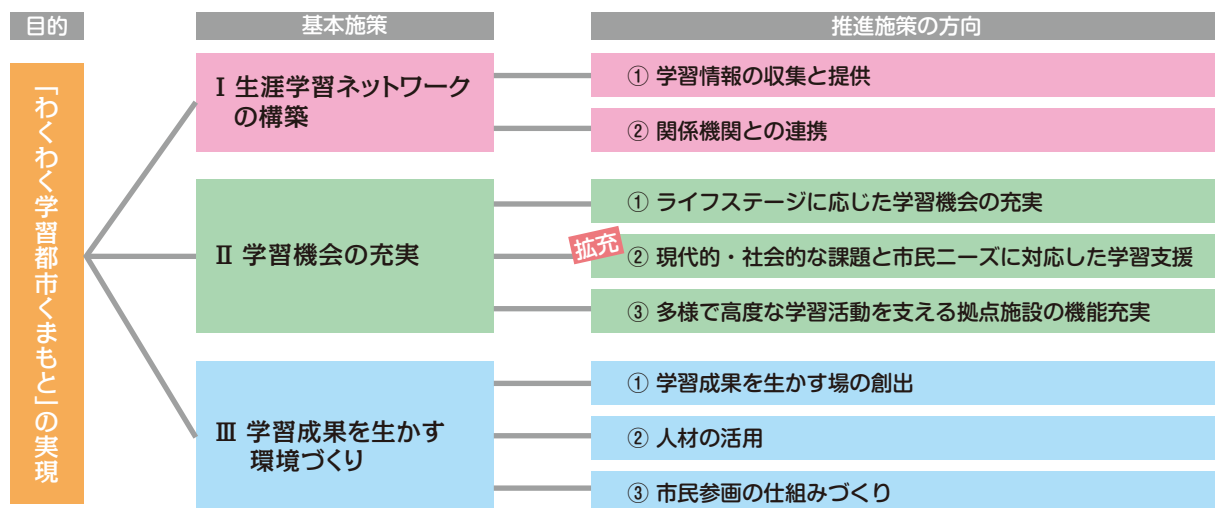
「わくわく学習都市くまもと」は、いろいろな世代の市民が、自らの学びの成果を地域や社会に生かすため、わくわくしながら、新たな経験や学びに取り組む姿が見られるまちです。

ここでは、行政と民間との生涯学習ネットワークの中で、個人の要望と社会の要請に対応した学習機会がバランスよく提供され、個人の学習の成果が社会に還元されるとともに、それがさらなる学習につながっていくいわゆる持続可能な知の循環型社会として、生涯学習社会が構築されています。

「わくわく学習都市くまもと」の実現



施策の体系



Ⅰ 生涯学習ネットワークの構築

① 学習情報の収集と提供

生涯学習に対する自発的な取り組みを促進するため、必要な情報が、いつでもどこでも手に入れられるように、情報収集の拡大はもちろん、多様なメディアによる情報提供や相談体制の充実、学習ニーズを掴むための調査等を積極的にすすめます。

- 推進施策1 学習情報の収集・提供体制の整備・充実
- 推進施策2 学習相談体制の整備充実
- 推進施策3 生涯学習推進に関する調査・研究の充実

(取り組みの例)

- 民間の教育事業者等も含めた講座情報の収集・提供
- 市広報紙やホームページ、SNSの利活用
- 学習ニーズ把握等のためのアンケート実施、活用



わくわく学習情報くまもと ホームページ
平成22年に開設。講座・イベントの開催情報や講師が検索できる。

② 関係機関との連携

多様化する学習ニーズに対応するため、豊富な学習資源をもつ民間団体等とのさらなる連携強化を図ります。

また行政内部においても、関係課での協力体制をより強固なものとし、生涯学習に関する進捗状況や効果を共有しながら、推進施策に取り組みます。

- 推進施策1 生涯学習関係機関・団体・事業者等との連携
- 推進施策2 庁内関係部署との連携強化

(取り組みの例)

- 学習プログラムの共同開発や講師の相互活用



ふれあい出前講座
健康、子育て、文化など200を超えるメニューから選択でき、費用は無料。

Ⅱ 学習機会の充実

① ライフステージに応じた学習機会の充実

生きがいのある心豊かな生活を送るためには、それぞれのステージ（世代）における特徴的な課題に応じた学習が必要です。世代にあわせた学習内容を提供するとともに、学習の出発点でもあり、かつ、すべての世代に必要な家庭教育に関する学習機会を積極的に提供していきます。

- 推進施策1 乳幼児期における学習の充実
- 推進施策2 学童期（小学生）における学習の充実
- 推進施策3 思春期（中高生）における学習の充実
- 推進施策4 成年期における学習の充実
- 推進施策5 高齢期における学習の充実

（取り組みの例）

- 子育てに関する学習機会の充実
- ボランティア活動、キャリア教育の充実
- 生きがい追求や介護予防に関する学習

② 現代的・社会的な課題と市民ニーズに対応した学習支援

生涯学習は、社会の急激な変化の中で、解決が必要な現代的・社会的課題を学習するものから趣味的なもの、職業能力の向上を目指した学習まで様々です。そのような中、「社会の要請」と「個人の要望」に応えるべく、次のような学習機会をバランスよく提供していきます。

- 推進施策1 家庭教育力の向上
- 推進施策2 地域教育力の向上
- 推進施策3 現代的・社会的な課題や市民ニーズに対応した学習の充実
 - （人権・男女共同参画・高度情報社会・食育・環境問題
国際化・消費者問題・防災・スポーツ振興・健康づくり
文化芸術の振興・文化財の保全や活用）

（取り組みの例）

- 家庭教育地域リーダーの養成
- 情報モラル教育・食育の推進
- 地域の課題解決のための講座



熊本城マラソン

③ 多様で高度な学習活動を支える拠点施設の機能充実

就職や自己実現に向けた知識やノウハウを身につけたい、より高度で専門的な学習がしたいといった声に応えるため、民間団体や高等教育機関と連携し、学習意欲の持続と拡大につながるよう努めていきます。また学習効果を高めるための環境整備を進めていきます。

- 推進施策1 社会教育施設、スポーツ・文化施設の機能充実
- 推進施策2 多様なニーズに対応した拠点施設の機能充実
- 推進施策3 より高度で実践的な学習内容に対応した支援

（取り組みの例）

- 博物館のリニューアルによる展示環境の改善や内容充実
- 図書館サービスの向上



くもと森都心プラザ
図書館が併設された「知の拠点」

Ⅲ 学習成果を生かす環境づくり

① 学習成果を生かす場の創出

学校や地域の中に市民が自らの学習成果を生かせる機会や場を創出し、市民の主体的な活動を積極的に支援していきます。また、地域での人材発掘や養成に努めるとともに、主体的に動く人や団体が結びつくことで活動の幅や効果が広がるよう、適切にコーディネートし、住みよい地域社会づくりに生かせる場を創り出していきます。

推進施策1 学校を中心とした場の創出

推進施策2 地域を中心とした場の創出

(取り組みの例)

- 学校支援ボランティア活動の充実
- 地域公民館や子ども会活動等への講師派遣



② 人材の活用

学習や仕事を通して得た知識や技能を生かしたいという人材の情報を収集し、それらを活用して学習したいという人々に向けて情報を発信することにより、生涯学習の機会充実に図ります。同様に、ボランティア活動をしたいとおもっている方々の意欲が実現できるよう情報収集と提供に努めます。

推進施策1 生涯学習人材バンクの整備と活用

推進施策2 ボランティア情報の収集と提供

(取り組みの例)

- 各部署における人材バンクの活用促進
- ボランティア登録制度の広報・周知



③ 市民参画の仕組みづくり

学習により得た成果は、知識や技能を高め、一人ひとりの生活に潤いや生きがいをもたらすと同時に、学んだものを地域で発表したり、指導者として還元したり、ボランティア活動をする等の地域貢献を行うことで、地域の活性化につながります。そこで、一人ひとりが学習成果を生かしながら地域貢献できる仕組みづくりを市民とともにつくっていきます。

推進施策1 参画型事業の展開

推進施策2 学習成果の発表機会の充実

推進施策3 学習成果の評価システムの整備

(取り組みの例)

- 公民館における市民企画講座の拡充
- 各施設や区で行う学習発表会の充実



南区わくわく公民館デー

ステージでの学習発表をはじめ、講座の体験コーナーや展示なども、多くの来場者でにぎわった。

計画の推進に向けた役割

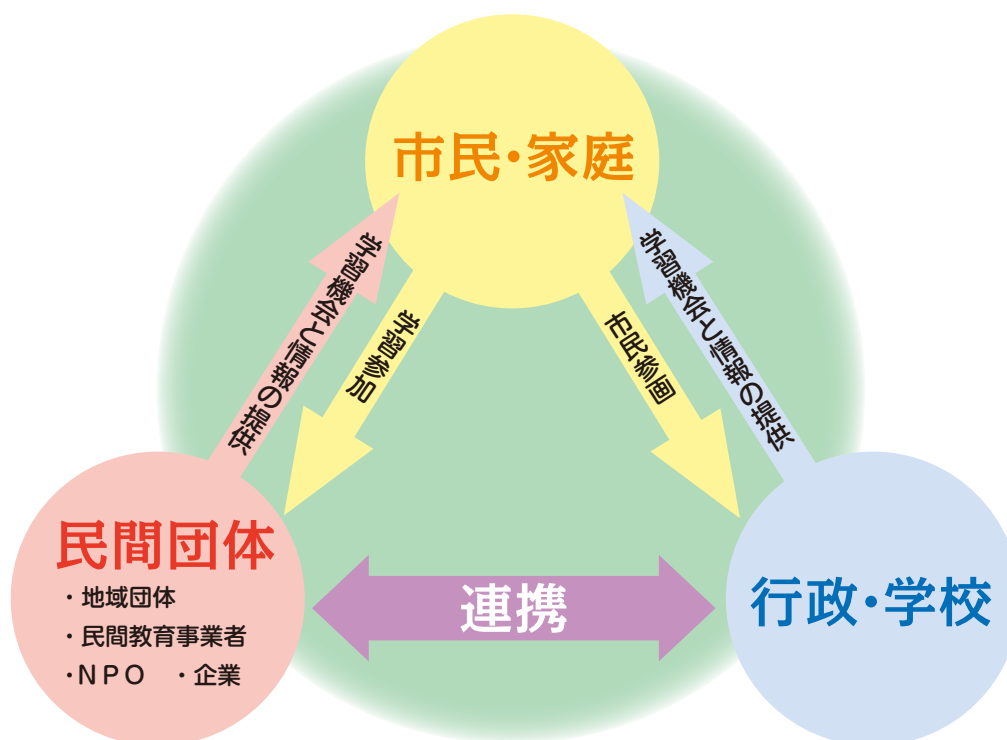
本市の生涯学習を推進するにあたっては、それぞれの主体が、生涯学習に対する役割と責任を認識し、お互いが対等な立場で協力し合う中で、生涯学習活動を展開していく必要があります。

市民

- 様々な主体が提供する学習機会への積極的な参加
- 学習成果を生かした地域への貢献

家庭

- 「生きる力」の基盤となる基本的生活習慣の育成
- 親子での地域活動への積極的な参加
- 自主性等の基本的態度・自発的な学習意欲の育成



地域団体

- 学校や社会教育関係団体間の連携によるコミュニティづくりの促進
- 青少年健全育成やボランティア活動の促進による地域教育力の向上
- 学習成果を生かした様々な地域活動の拡充

民間教育事業者・NPO等

- 専門的な知識・技能の提供
- 蓄積している情報の提供
- 市民のニーズを捉えた学習機会の提供

企業

- 社会貢献事業の推進
- 社内研修の充実
- インターンシップの受け入れ促進
- 社員の社会貢献支援のための条件整備促進

行政

- 生涯学習の理念の普及と啓発
- 学習情報の収集・提供を充実させるための関係機関とのネットワーク化の推進
- 市民の学習ニーズと社会の要請に応える学習機会の提供
- 学習成果を生かす環境づくり

学校

- 社会生活の基礎となる「生きる力」の育成
- 社会の変化に伴って生じる現代的課題に対する教育の充実
- 地域と連携した「開かれた学校」づくり

皆さんの生涯学習
応援します！



講座・イベント・講師を
インターネットで探す

わくわく学習情報くまもと

検索

ふれあい出前講座を活用する

10人以上で学習する場に、講師を派遣します！

- ぐらしに役立つ生活情報、福祉や健康、子育て、文化など、200以上のメニューから選択できます。
- 講師は、熊本市や国の機関、大学、病院、NPO等から派遣します。
- ご用意いただくのは場所と時間だけ！
- **開催予定日の21日前まで**に生涯学習推進課（096-328-2736）へお申し込みください。

メニューは、ホームページでもご覧いただけます。

熊本市 ふれあい出前講座

検索

費用は
かかりません！

主な生涯学習関連施設

	名称	電話
中央区	中央公民館	353-0151
	大江公民館	372-0313
	五福公民館	359-0500
東区	東部公民館	367-1134
	託麻公民館	380-8118
	秋津公民館	365-5750
西区	西部公民館	329-7205
	花園公民館	359-1261
	河内公民館	276-0133
南区	南部公民館	358-0199
	幸田公民館	379-0211
	飽田公民館	227-1195
	天明公民館	223-0118
	富合公民館	357-4580
	城南公民館	0964-28-1800
北区	龍田公民館	339-3322
	清水公民館	343-9163
	北部公民館	245-0046
	植木公民館	272-6906

名称	電話
熊本市立図書館	363-4522
熊本市立植木図書館	272-6915
熊本市立城南図書館	0964-27-5945
くまもと森都心プラザ図書館	355-7401
熊本博物館	324-3500
熊本市現代美術館	278-7500
くまもと工芸会館	358-5711
子ども文化会館	323-0505
金峰山少年自然の家	277-2124
あそ教育キャンプ場	0967-32-4170
熊本市国際交流会館	359-2020
熊本市総合体育館・青年会館	385-1010
熊本市総合屋内プール（アクアドームくまもと）	358-2711
ふれあい文化センター	366-7310
あいぽーと（市民活動支援センター）	366-0168
はあもにい（男女共同参画センター）	345-2550
環境総合センター	379-2511
水の科学館	346-1100

熊本市生涯学習指針の全文は、熊本市ホームページに掲載しています
 (🏠 ホーム > 学び・観光・スポーツ > 講座・講演会・生涯学習 > 計画・年次報告)



ひごまる

平成26年3月改訂

熊本市生涯学習指針 概要版

発行 熊本市企画振興局生涯学習推進課

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号 電話 096-328-2736